

京都市における新たなMMの取組

大学生と連携したMM

小学生とその保護者を対象にしたMM

井上了祐・権藤 拓樹・中村 悠・永田 直也
(京都市都市計画局歩くまち京都推進室)

上田 大貴・高橋 咲衣・東 徹
(一般社団法人システム科学研究所)

「歩くまち・京都」憲章の制定

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとりは、
1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。
そして、市民と行政が一体となって、
1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、賑わいあるまちを創ります。
1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。



平成22年1月23日、市民・観光客の皆様、そして事業者、行政が一体となって「人が主役の魅力あるまちづくりを進めるための事柄を明確にするために「歩くまち・京都」憲章を制定

理念実現のための
具体的な取組

「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定

憲章の理念を実現するため、交通まちづくりのマスタープランとして「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定 令和3年11月30日には改訂版として「歩くまち・京都」総合交通戦略2021を策定

非自動車
分担率を
85%以上に

目標を実現するための3つの柱

柱1 持続可能なまちづくりを実現する公共交通ネットワークの形成
「公共交通ネットワーク」の取組

柱2 誰もが「出かけたくなる」歩行者優先の魅力あるまちづくり
「まちづくり」の取組

柱3 歩いて楽しい暮らしを大切にするスマートなライフスタイルの更なる促進
「ライフスタイル」の取組

令和6年度の取組

京都市では「歩くまち・京都」総合交通戦略2021の3つの柱の一つである「ライフスタイル」の取組として、過度なクルマ利用を控え、徒歩や公共交通による移動を優先するよう、自発的な行動の転換を促すモビリティ・マネジメント(以下「MM」という。)の取組(地域住民と連携したニュースレターや時刻表の作成・配布、教育現場と連携した授業モデルの作成など)を実施している。令和6年度は、新たな対象者にMMの取組を拡充するため、大学生と連携したMMと小学生とその保護者を対象にしたMMを実施した。

大学生と連携したMM

京都市内の大学に通う学生と協働で、京都市左京区北部山間地域の観光・お出かけスポット等を紹介するデジタルマップを作成することにより、公共交通の利用促進を図った。

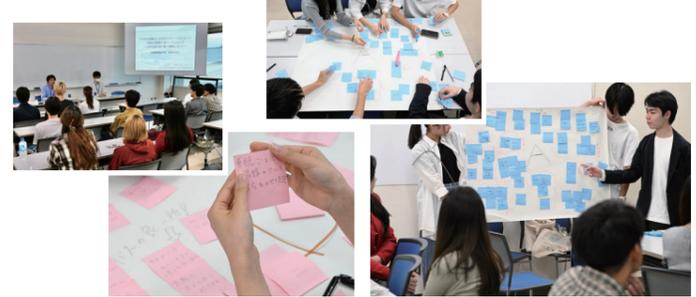
具体的には、京都産業大学の学生20名とともに、ワークショップやフィールドワーク等を実施しながらマップを作成し、同大学の学生等に向けてデジタル配信するほか、バス事業者や地域が主体となって実施するMMの取組とも連動して沿線地域住民にも紙媒体で配布することにより、産学公民連携でバス利用を促進した。

令和7年度は市内の各大学と連携し、バスをテーマにしたデジタルフォトマップを学生が作成する企画を実施。優秀な作品については、コンテストにより表彰し、掲出するなど、効果的に情報発信を行う。



バス旅マップ

ワークショップの様子



小学生とその保護者を対象にしたMM

京都市観光施策と連動した参加型の公共交通利用促進キャンペーン「いけいけ京北 親子でGO!」を実施した。

具体的には、令和7年3月の5日間(土日祝)に西日本JRバス(高雄・京北線)及び京北ふるさとバス(全線)が乗り放題となる企画乗車券を販売し、本乗車券を購入した家族を対象に地域のことを楽しみながら学べる6つの体験プランを提供することで、延べ87名の参加があった。

令和7年度は地域が主体となって継続的に実施できる取組となるよう体制構築に取り組む。

「いけいけ京北 親子でGO!」当日の様子

